

学校以外でも学べる場所がある

十五中のホームページには、『家庭学習ポータルサイト』という場所があります。Web上には、いろいろな学習コンテンツ（教材、動画などなど）がありますので、自分で学ぶことのできるサイト（インターネット上のページ）を紹介しています。



開くと『eboard（イーボード）』と『数学教科書の解説動画（啓林館）』のリンクが現れます。

eboardは、NPO法人が運営する動画教材サイトで国、社、数、理、英の5教科の授業動画が見られます。小学校の内容もありますので、振り返り学習もできます。

啓林館のサイトでは、今学校で使っている教科書の例題の解説を見ることができます。予習や復習に使いそうです。

左側の『学習教材や資料』のカテゴリでは、皆さんが授業でもよく見ているNHK for Schoolや全国高校入試問題へのリンク等があります。

『外部機関の講座・セミナー』では、特に夏休み中には中学生が参加体験できる実験講座などをたくさん紹介しています。例えば近くでは、関西大学のサイエンスセミナー。リニアモーターカーを作ろう、などなど。参加してみると理科の自由研究の参考になるかもしれませんね。受付しめ切りが間もなくとなっていますので、早めにチェックしてみてください。

『コンテストなど』のカテゴリには、これも夏休みに取り組める作品作りや作文のコンテストをたくさん紹介しています。入選すれば賞金がもらえるものもあります。チャレンジしてみればどうでしょうか。

こうしてみると、学校以外でも学べる場所はたくさんあることがわかります。

何かの方法を調べるときも何かの資格を取るのにも、図書を調べるだけではなく、YouTubeの動画などを見ていつでもどこでも自分で学習できるのが普通になりました。同じ興味を持つ全国の仲間ともつながって議論もできます。昔に比べると格段に学びやすい時代になったのです。自分から学ぼうとする人はどんどん学びを進めています。最近では、親の知らないうちに専門家顔負けの知識を持つ小学生や、自分のやりたいことを追及して、それを商品化し会社をつくる高校生なども出てきました。

大人になる前も大人になってからも、人生を切り開くには学びの力はとても大きな要素です。ずっと学びを避けて生きていくわけにはいきません。今回の夏休みは自分で自分の学びのスイッチが入れられる夏休みにしてほしい、と願っています。

学校での学びとは

学校以外で学ぶ場所がたくさんあるのなら、学校には行かなくてもいいのではないか？という疑問がわいてきますね。実際、学校に行かなくても大成した発明家エジソンのような人もいます。

ではここで、学校での学習は、どんな点が良いかを考えてみましょう。

まず、学校ではいろいろな分野の学問を体系的に（順序よく）効率的に（ムダなく）学習することができます。Web上のいろいろな教材で学校と同じ内容を学ぼうと思えば、探すだけでもすごく手間と時間がかかります。学校の学習内容と同じ内容をパッケージにしている動画配信もありますが、お金がかかる場合が多いですし、5教科はあっても9教科すべてを含んでいるものは今のところはないと思います。

また、使う教科書は違っても全国の中学生在が同じ内容を学んでいます。大人になって異なる地域の人と出会っても、同じ知識が共有されていればいちいち説明しなくても「ああ、あのことね」とすぐに理解しあやすいのです。

2点目、学校の授業では先生がそばで教えるので、分からない点をすぐに聞くことができます。また実は先生は事前に「ここでは話し合い活動をして発表してもらうことでプレゼンの力をつけよう」などと考えて計画を立てたり、授業中もみんなの顔を見ながら、「ちょっと分かってなさそうだからもう少し説明を加えよう」と考えたりして修正しながら授業を作っています。「これは前に学習した内容だけど、覚えていない人が多いみたいだからここで復習するよ」などと言う先生いますよね？それは1組で言っているでも2組では言っていないかも。つまり先生たちは毎時間毎時間皆さんに合わせて授業をカスタマイズしています。オンデマンド（録画の配信）は繰り返し見られますが、生徒に合わせて臨機応変な説明をする、というわけにはいきませんね。オンデマンドでは将来役に立つ（かもしれない）楽しい雑談が記憶に残る、なんてこともあまりないでしょうね。



3点目として、学校の授業ではペアワークをしたり、グループディスカッションをしたりします。そんな経験を通して「なるほど、他の人はそんな風に考えるんだな」とか「みんなの意見をまとめて一つの意見にするには、こんな方法であればいいんだな」とかが分かってきます。そして、学習への興味の度合い、理解度、コミュニケーションのしかたなどが自分と他の人では全然違うこと、そんないろんな仲間と何とかうまく学習を進めていくことを学びます。そういった他者を理解する力とか自己コントロールの力は、これから先、生きていく中では大切な力になります。先生の質問に対してちょっと面白い回答を誰かがしてクラスが笑いに包まれることもありますよね。間違えても誰からもバカされない教室の雰囲気があり、みんなの意見が違っていてもお互いに攻撃したりせず認める、そんな学習集団であれば学校での学習はとても楽しいものになるに違いありません。みんなで作る良い学習環境が皆さんの成長をさせるのです。

（裏面もあります）

学校に来にくい人のためのオンライン数学学習会について

文部科学省の調査では、令和3年度の不登校（年間30日以上欠席）の生徒は全国の中学校で16万3千人でした。文部科学省は不登校生徒への支援について、「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、社会的に自立することを目指す必要があること。また、児童生徒によっては、不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益や社会的自立へのリスクが存在することに留意すること、としています。

前述したように、学校は効率的にいろいろなことを楽しく学べる場所ですので登校して学べればそれに越したことはありません。しかし、起立性調節障害で苦しんでいたり、登校に不安を感じて長い間登校できない状態が続いたりしている人は、全国的にも増えてきています。十五中では、そんな人たちのために、数学のオンライン学習会を下のとおり始めます。

■方法■

- (1) まず表面で紹介した『eboard』や『啓林館』のサイトなどで自分で数学を学習します。
- (2) わからないところをオンラインの学習会で質問し、やり取りしながら学習します。



■オンライン数学学習会の曜日&内容■

- ・7月から3月まで実施予定
 - ・所属学年に関わらず参加してもらってかまいませんが、曜日ごとの内容は次のとおりです。

火曜日	13時30分～14時20分	→	1年生の内容 & 小学校の内容
水曜日	13時30分～14時20分	→	2年生の内容
木曜日	13時30分～14時20分	→	3年生の内容
- （毎週実施できるわけではありません。実施日は参加者に月ごとにお知らせします。）

■申し込み■

参加を希望する人は、まず担任の先生に相談してください。生徒本人、保護者の方と校長でお話しさせて頂き、オンライン（ZOOM使用）への参加方法をお伝えします。

■その他■

・学校に登校できる人、できそうな人はこの学習会への参加はできません。どうしても登校はできないけれど数学（算数）だけでも勉強してみよう、と思う人だけが参加対象者です。

・13時30分の時点で誰も参加者がいない場合はその日は中止とします。その日の体調に合わせて参加してください。

- ・この学習会への参加は登校扱いとはなりません。

学校のトイレ（校舎・体育館・プール）改修工事について

7月から11月末にかけて、学校のトイレの改修工事を行います。

まず、校舎については、各場所にある和式の便器の一部を洋式に取り替えます。またトイレの内装も少しきれいになります。

体育館については避難所にもなりますので車いすでも使えるように、7月24日から大規模な改修となります。そのため、11月まで体育館トイレの周囲が仮囲い（パネルの壁）で覆われます。体育館の外側、テニスコートの横に資材置き場ができ、大きく囲われます。（下図）体育館の内側も1メートルほど囲いが出っ張るので、クラブ活動の際などぶつからないように気を付けてください。

工事期間中は、体育館のトイレが使えませんので、生徒の皆さんは特別館1階のトイレ（金工室前）など校舎内を使うようにしてください。

また現在は各クラブで校舎の外周を走っていますが、仮囲いがある間は体育館への渡り廊下を横切るようにして通り抜けることができません。そのためぐるっと1周を走ることはできません。走り方については、検討して改めて連絡します。

プールのトイレ工事は、10月以降、プールを使わなくなった時期から行います。

なお、工事関係者や夜間に体育館施設を使われている外部団体の方は、工事期間中プールのトイレを使用します。

この工事に伴い、工事事務所のプレハブ小屋が駐車場に建てられ、工事車両が常時数台駐車している状態となります。体育館横の東門には警備員さんが1名常駐し、工事車両の誘導や生徒の通行に危険がないように見守ります。

皆さんには不便をかけますが、スムーズに工事が進むようにご協力をお願いします。

